



全国エコツーリズムセミナー in 鳥羽 を開催しました

エコツーリズムの取り組みが全国規模で一層推進されることを目指し、全国の自治体関係者や事業者などを対象として「全国エコツーリズムセミナー in 鳥羽 ~エコツーリズムで地域が変わる! 地域の宝を探し、磨き、守り、魅せる!~」を7月14日に開催しました。

このセミナーは、伊勢志摩国立公園内で活躍する海島遊民くらぶ(三重県鳥羽市)が第5回エコツーリズム大賞(平成21年度)を受賞したこと、また7月8日には同公園内で鳥羽市エコツーリズム推進協議会が設立されたことを記念し、三重県鳥羽市で開催されたものです。

冒頭、主催者を代表して小沢鋭仁環境大臣が挨拶を行い、地域の特性を活かしたエコツーリズムの推進によって自然環境の保全と地域振興を果たしてほしいと、全国から集まった約120名の参加者に呼びかけました。



小沢環境大臣の挨拶

セミナーではまず、エコツーリズムの取り組み事例からヒントを得ていただこうと、3地域の事例を紹介しました。NPO法人



セミナーの様子

黒潮実感センターセンター長の神田優氏からは、高知県幡多郡大月町の柏島における持続可能な里海をつくるエコツーリズムの実践例を、山口県観光戦略会議議長の山本時博氏からは山口県の秋吉台地

域を中心としたエコツーリズムの視点を活用した観光活性化の事例を、志摩自然保護官事務所の仲埜公平自然保護官からは伊勢志摩国立公園で取り組み始めた「エコツーリズム=資源感幸」の仕組みづくりについて、それぞれ紹介しました。

続いて特別講演として、NPO法人日本エコツーリズム協会理事の山田桂一郎氏から「エコツーリズムで地方経済が蘇る!」と題し、低迷する地方経済情勢においてエコツーリズムがもたらす地域の価値の向上や、地域産業などにもたらされる効果、エコツーリズムを地域活性化のために導入することの重要性などについてお話を頂きました。

最後に、環境省自然環境局総務課自然ふれあい推進室の堀上勝室長が環境省のエコツーリズム推進施策について説明し、参加者が今後各地においてエコツーリズムを一層進める上でのきっかけとなりました。

翌日には、エクスカージョンとして、鳥羽市の菅島・答志島でエクスターを行いました。豊かな自然や漁業が盛んな島の生活や文化といった鳥羽ならではの魅力を堪能するツアーを通じて、地域資源の保全と地域の経済の好循環を実践している状況を肌で感じていただきました。



エクスカージョン(島歩き)

エコツーリズムは地域の生物多様性の持続可能な利用を通じて地域が元気になるための好手法であり、今回のセミナーは、生物多様性条約COP10の開催を契機に中部地方がその先進地域となる第一歩となりました。

生物多様性流域対話

昨年度中部地方環境事務所が策定した「生物多様性を支える市民・地域による戦略的流域づくりビジョン」では、①伊勢・三河湾流域の生物多様性について考えるための場と輪をつくる、②伊勢・三河湾流域の再生に向けて行動する、③伊勢・三河湾流域の生物多様性の保全・再生の仕組みをつくるという、「知識・文化」、「行動」及び「制度」という連環する3つの要素から成る目標を示しました。

今年度からビジョンの実践を始めますが、その一環として、8月22日(日)に「生物多様性流域対話」(約50名が参加)を開催しました。

平成20年度から伊勢・三河湾流域で活動している団体を調査していますが、当流域対話はそれらの団体が相互に連絡を取り合い、お互いに活動していく上での、誇り(光)と課題(影)を共有することが目的でした。

当日は、NPO法人森と水辺の技術研究会の野村典博氏によるコーディネートで、現在調査を進めている揖斐川・長良川流域における活動団体と調査者が対談する形式で事例発表を行いました。事例発表では、NPO法人山菜の里いび(小寺春樹氏)より山地に囲まれた地域にある集落を活性化させることを目的とした活動について、郡上市における林業従事者(小林胤樹氏)より日本の衰退していく林業を活性化させる取り組みについて、さらに岐阜市自然環境課(吉村卓也氏)より地域の生物多様性を保全する取り組みについて、情報提供していただきました。



昼食の準備(山菜の里いびのみなさんなど)



話題提供

会場の参加者全員が議論に参加した討論は、森里川海の様々な流域で活動されている団体、個人がお互いの存在を認識し、他団体の活動に対して疑問を持つことを通して、ネットワークづくりのモデル的な取り組みとなったのではないかと思います。今回情報提供していただいたNPO法人山菜の里いびや郡上市の林業従事者の方々によると、伊勢・三河湾流域における河川の上流域において活動しているが、生物多様性の保全を目標に掲げてはいませんが、その地域で生活していることの結果が、たまたま生物多様性の保全に寄与することになった、ということです。つまり、日本独自の伝統文化は自然を利用するのではなく、自然と共に生きるということなのです。こうした考え方を参加者と情報共有することによって、伊勢・三河湾流域の生物多様性を保全する上での第一歩を踏み出しました。

閉会時、野村氏から、伊勢・三河湾流域の生物多様性保全の取り組みは始まったばかりであり、これからスタートする旨伝え、「流域対話」は閉会しました。中部地方環境事務所では、今後もより一層ビジョンを実践し、地域の取り組みとして自立的に進められるよう応援していきます。



自由討論

第30回全国豊かな海づくり大会 ~ぎふ長良川大会~ ふれあい交流行事「せき海づくりフェスタ」

主催: 関市、第30回全国豊かな海づくり大会関市推進協議会
日時: 6月12日(土)~13日(日)
会場: 関市



中部地方環境事務所のブースを出展し、COP10に向けた取り組みの紹介や折り紙による「地球のいのち、えがいてみよう inせき海づくりフェスタ」(写真)を実施しました。

「地球のいのち、えがいてみよう」成果物

<国際生物多様性年 記念講演会> 南の島のいきもの保全 ~奄美、屋久島、日本の自然~

主催: 中部地方環境事務所
日時: 7月2日(金)
会場: ウィンク愛知(名古屋市)

国立公園・世界自然遺産の指定に向け第一線で活躍されている、鹿児島大学学長補佐の小野寺浩氏(元環境省自然環境局長)を講師としてお招きしました。自然の風景に対する認識の変化、日本の自然環境の現状と課題、奄美大島や世界自然遺産・屋久島の現状と課題、さらに、生物多様性保全の観点からの国土の再編・自然環境の保全・再生の重要性についてご講演いただきました。



生物多様性条約第10回締約国会議100日前記念「生命流域シンポジウムin王滝村」

主催: CBD市民ネット、中部地方環境事務所
日時: 7月17日(土)~18日(日)
会場: 名古屋市民おんたけ休暇村

伊勢・三河湾水系の一つである木曾川の水をテーマに、下流域の住民が上流域の王滝村を訪問し、生命流域の生物多様性及び生息環境の保全・再生と賢明な利用について理解を深めました。



エクスカージョンで訪れた王滝村役場

今後の動き (9月~11月)

COP10 社会と学術の対話フォーラム「生物多様性を主流に」

日時: 9月4日(土)~5日(日)
会場: 名古屋大学豊田講堂
主催: COP10支援実行委員会

生物多様性条約第10回締約国会議及びカルタヘナ議定書第5回締約国会議に関する情報共有のための中部地方円卓会議(第2回)

主催: 中部地方環境事務所
日時: 6月25日(金)
会場: 中部地方環境事務所 第1会議室

中部管内の各団体からCOP10に向けた取り組みが紹介されたほか、5月にナイロビで行われた生物多様性条約第14回科学技術助言補助機関会合(SBSTTA14)の結果などについて情報共有しました。



挨拶をする市原所長

生物多様性条約COP10/MOP5開催100日前 記念フォーラム

「開催地の声を世界に届けよう!! 開催地からのメッセージ~あいち名古屋宣言に向けて」

主催: CBD市民ネット
共催: 中部地方環境事務所、COP10支援実行委員会
日時: 7月11日(日)
会場: 名古屋国際会議場

本フォーラムでは、「南北NGOの連帯と対話-COP10を超えて」をテーマにパネルディスカッション、国際自然保護連合(IUCN)上席科学顧問のジェフリー・マクニーリー氏の記念講演が行われたほか、各作業部会からの提言をまとめたポジションペーパー(案)が発表されました。中部地方環境事務所より、田村統括自然保護企画官が当所の取り組みを紹介したほか、「地球のいのち、えがいてみよう」の成果物を会場内に展示しました。



行われたほか、各作業部会からの提言をまとめたポジションペーパー(案)が発表されました。中部地方環境事務所より、田村統括自然保護企画官が当所の取り組みを紹介したほか、「地球のいのち、えがいてみよう」の成果物を会場内に展示しました。

いしかわ環境フェア

主催: 社団法人いしかわ環境パートナーシップ県民会議
後援: 石川県、中部地方環境事務所
日時: 8月21日(土)~22日(日)
会場: 石川県産業展示館 4号館

中部地方環境事務所は、本フェアと同時に開催された「いしかわ里山里海展」で、200名以上の参加者によって「地球のいのち、えがいてみよう~いしかわから世界へ~」を作成したほか、これまで作成された「地球のいのちえがいてみよう」の成果物や紙芝居「たんぼとんぼのなかまたち」を掲示しました。



「地球のいのち、えがいてみよう ~いしかわから世界へ~」石川県や世界各地の特色を表した背景画に生きもののぬり絵や折り紙を貼付